

田上本町  
田上町  
田上1丁目  
田上2丁目  
田上新町  
田上公町

上若松町  
若松町  
若松町兼六台  
若松町東  
若松町第3  
若松町1丁目  
若松町2丁目

太陽が丘・ひまわり  
・あおぞら  
・そよかぜ  
・ゆうひみ

角間新町

若谷町

下中島  
旭日会

旭町・上中下

たがみ  
公民館だより

第88号

平成22年3月31日



編集・発行 田上公民館広報視聴覚部

<http://tagamihome.blog61.fc2.com/>



### 講演要旨

食品添加物というとは何か体によくないイメージがありますが、

古くは奈良、平安時代時からあったとも言われています。現在食品に許可されている化学物質は、人体にとって副作用があつてはならないことが前提とされ、極めて安全性の高いものが使用されています。ちなみに病気を治す医薬品の場合には若干の副作用はあり得るとされています。では何故食品に添加物が必要なのでしょう。それは見た目、食感、保存性を良くするなどの目的で使用されます。

天然のものでは、シソ、ペニバナ、クチナシの実、カンテンなどなど、さまざまな添加物で溢れています。例えばソーセイキログラムに使用される発色剤は0.1グラムという基準があり、いろいろな食材とあわせて食べても本来、人の体もつ代謝により排出されますので、生涯食べ続けても大丈夫です。

輸入食品におきましては検疫所で検査があり、また各都道府県等による輸入食品検査があり、合格したものだけが市場に出回っています。産地も日本の厳しい基準に合わせられるよう努力されています。ただ、焼き肉をするときに注意したいのは自分が使っている箸で生肉を網に乗せるのはタブーです。万、生肉に細菌O157が少量でも付着していたら発病します。なるべくトングを使用して下さい。

石川県はO157の感染率が全国第二位です。これは生ものが好きな県民性でしょうか。「生レバーも体調の悪い日は避けて下さい。」とのお話でした。

今回いただいた資料が公民館にありますので近くにいられたら是非読んで下さい。最後に、おいしく食べてしっかり休み、すこやかな日々をお送り下さい。



## 食品表示に見る食の安全のお話

石川県はO157の感染率が全国第二位です。

平成二十二年十二月十七日火曜日午後七時半から田上公民館において、金沢市食品安全対策室室長吉田裕雪氏をお招きし、食品添加物と輸入食品の安全性について男性三名を含む十五名の皆様でお話を聞きました。



シソ



クチナシの実



ペニバナ





# かんじきウォークのかんそう

杜の里小 6-2

藤田 麻菜



私は、里山の勉強を5年生のときしました。それからは、このイベントにちよくちよくお参りをしています。この前も冬の里山を歩きに行ったのですが雪がつかなくて、かんじきをはけませんでした。だから今回かんじきをはけてよかったしうれしかったです。かんじきをはいた時しかまなくてびっくりしました。べんりだとその時思いました。でもあるくのが難しくてすこころんでしまいました。昔の人はなんでこころいらないのか不思議だなあ。

雪の上には、この動物の足あとがありました。私は里山には、もう動物はいないと思っていたのでびっくりしました。また、こんなに美しい場所があるなんていいなへと改めて思います。でも私は、動物を見たかったです。「里山っていいところだ」この思いを、このイベントで強められると思います。楽しかったです。



山上公民館は、山上校下の24町会の皆さんの公民館として運営されています。シリーズ4回目の今回は旭町を紹介いたします。

series  
わが町・探訪

4

旭町  
・上  
・中  
・下  
町会

文・宗広征二

歴史(明治から現代)

金沢市が誕生した明治22年(1889年)旭町は石川郡埴浦村の二村落でした。小立野台の東端とその裾(すそ)に伸びた集落で当時「牛坂村」と呼ばれていました。その名残(なごり)は牛坂八幡神社の名称として残っています。

牛坂(現在の鶴間坂)の途中に水量豊富な「旭清水」がありました。そのかたわらにある地藏さんは「旭観音」と呼ばれています。その「旭」にちなんで昭和11年(1936年)金沢市に編入の際「旭町」と名づけました。旭町(牛坂村)は、元々農村として開かれた土地であり、近年まで300年以上純農村地帯で、その恩恵として旭用水(牛坂用水)を見逃すことは出来ない。金沢に近いこの地は、町への農産物の供給地として、その役割を果たしていました。昭和35年以降の高度経済成長により、地方都市である金沢でも人口が都市に集中するという現象が起き都市近郊農村では宅地化が所々に見受けられるようになりました。ここ旭町では昭和47年(1972年)土地

地区画整備事業に着工し昭和51年(1976年)に完成した。また、町会も旭町上町会・中町会・下町会とし、以前からこの土地に住まいする人と新しく住まいする人が知恵を出し合って町会運営ができるようにしました。このようにして、住宅地としての環境が整い、又金沢中心部より近いという条件を満たしていたためそれ以前、水田とブドウ畑が広がっていたここ旭町も一般住宅が増え始めた。昭和55年(1980年)金沢大学角間移転決定、平成元年



昭和48年(1973年)4月の旭町



平成18年(2006年)4月1日の旭町  
(GoogleEarthより)



# 「冬の里山かんじきウォーク」の活動報告

青少年部 田村 功



2月13日土曜日、金沢大学角間の里において田上、杜の里小学校4、6年生の元気な児童7名と、その保護者を含めた元気な大人18名の参加で「冬の里山かんじきウォーク」が行われました。

「今年こそ雪の上を歩きたいなあ。」が、最近の青少年部での合言葉になりつつあったこの企画。幸い、今冬は久々の大雪だったことや、日程を例年より一ヶ月近く早めるといった東部長の執念で、何とか積雪20センチで迎えた当日は、雲の切れ目から青空も見える絶好の里山日和となりました。

さて、児童の参加人数が少なく、盛り上がりには一抹の不安がありました。が、運良く同じ場所での「金沢子ども財団」と「里山メイト」の活動日と重なってしまい、総勢四六名のにぎやかな活動が始まりました。金沢大学の中村先生と学生さんの指導のもと、最初に動物の足跡ゲームで遊びながら野生動物の足跡を勉強し、いよいよみんなかんじきを履いて山歩きのスタートです。中には初めてかんじきを履く子どももいて、はしゃいで山道を走り回っています。里山を進み、注意深く雪道や雪壁を見回すもありました。さつき習った野ウサギやたぬきの足跡がたくさん。また、要所では里山の歴史に詳しい亀田さんに植物の話をしてもらい、子どもたちは目を輝かせながら真剣に聞いていました。

約2時間の活動を終え、記念館に帰ると何やらすごく良い匂いがしてきました。実は今回は長寿社会部との合同企画で、我々が里山を歩いている間、長寿社会部員とボランティアの皆さんがおいしい汁を用意してくれていました。子どもたちは、持参したおにぎりとお汁をおいしくいただき、冷えた体を温めながら雪の山歩きを思い出して、話に花を咲かせていました。

最後に、当日お忙しい中手伝ってくださった皆様、野菜を提供してくださった方、おいしいお漬け物をプレゼントしてくださった方、本当にありがとうございました。来年度以降もこの企画は続く予定なので、よろしく願っています。



旭用水と鶴間坂

## 旭用水と鶴間坂

旭用水は今から350年以上前、一浪人が藩に請うて作ったといわれている。こうして用水が完備したことにより旱魃（かんばつ）のない安定した水田地帯となりました。浅の川左岸、下田上橋上流の堰堤から取水しトンネルをくぐり下田上橋下手の堤防横で表に出てくる。その後暗渠の中を通り旭町2丁目交差点付近で開渠となり今は、用水本来の役目を終えひっそりと流れている。「大学門前町ホテルの会」の手でホテルを飛ばす計画があります。鶴間坂は旭町と小立野を結ぶ急勾配の坂です。かつては眺望がよく、多くの詩人が訪ねていました。今は整備され歩行者専用となり金大鶴間・宝町キヤンパス、美大、金商高校等の学生達の通学路としてよく利用されています。

## 旭町は学生の町

金大角間移転により旭町には多くのアパート・マンションが建設されその数約230。かつてのブドウ畑は姿を消しました。少なく見積もっても約3000人の学生が住んでいると思われる。旭町人口の約40パーセントが学生となる。数字に表れていないのは、住民票移動をしてない学生が多いと推測される。事実、金大移転が始まった平成元年前後の人口推移を見ても大きな動きはない。

## 旭町の活動

旭町は3町会に分かれていて、旭町福祉センターを活動拠点としてより多くの人が行事に参加できるよう細かな町会活動を行っています。しかし、全国どこでも見られる学生と一般住民との交流や連携の問題です。以前は、下宿や定食屋などで町の人たちとつながりを持っていましたが、今はワンルーム・コンビニ・パソコンや携帯での友達とのメールが中心になっています。そして居住期間が短いなどの理由があるにせよ、町会活動に消極的であり、それがゴミ問題・路上駐車・深夜の騒音問題となり一般住民が困っているのが現実です。しかし今年（平成21年）12月、金大生が中心となりスポーツ活動を通じて社会経験を得る、の趣旨で結成された「杜の里スポーツクラブ」と田上校下で雪かきボランティア協定を結びその一歩を踏み出しました。我が旭町においても学生に町会行事を積極的にアピールし連携を深め、万が一の震災・災害時等に「お互いに助けあう」町作りに努めたいと思っています。

|    | 一戸建 | アパマン | 計   | アパマン率  |
|----|-----|------|-----|--------|
| 上町 | 327 | 70   | 397 | 17.63% |
| 中町 | 161 | 118  | 279 | 42.29% |
| 下町 | 109 | 50   | 159 | 31.45% |
| 計  | 597 | 238  | 835 | 28.50% |

参考 【旭町の住宅】  
住宅地図（刊広社 平成21年9月発行）より



# 成人式 2010

1月9日(土)10時より、本多の森ホールで成人式が盛大に行われました。

田上校下では74名(男性45名・女性29名)の方が成人の日を迎えられました。

小雪の舞う寒い日でしたが、女性は全員お着物で、とても華やかで春が足早くやってきたようでした。また、男性は、スーツ姿や袴姿がとても凛々しく頼もしく思われました。広報部では男性19名、女性6名の方にインタビューをしましたのでご紹介します。

平成21年度金沢市城東地区公民館合同成人式



## 質問 3

### Grown up

## 質問 2

### Ceremony

## 質問 1

成人式を迎えた感想をお聞かせください。

男性  
●これから、責任と自覚を持ちたい。  
●自分の夢に向かって行動したい。  
●気持は15歳のまま。あまり変わらない。  
●実感がない。

女性  
●無事に成人の日を迎えられてうれしい。  
●親に感謝し、親を大事にしようと思う。  
●祝ってもらえて幸せです。  
●久しぶりに友人に会えてうれしい。  
●社会づくりの一員になりたい。

あなた達から見た大人とは? お聞かせ下さい。

男性  
●一社会人として自覚ある行動をする。  
●社会に出て責任を全うする。  
●責任が伴う人種。  
●社会人として恥ずかしくないように生きる。  
●新しい家族を守るようになりたい。

女性  
●責任を持って自立する。  
●自立した生き方をする。

大人の仲間入りについて聞いてみました。  
「はい」と答えたかたについて人数を書きました。

① 今年選挙がありますか?  
選挙にいかれますか?

●男性 6名 ●女性 1名

② お酒を飲みますか?

●男性 12名 ●女性 3名

③ 煙草を吸いますか?

●男性 4名 ●女性 0名

皆さま、素直に真面目に答えて頂き、ありがとうございます。これからも、社会人として、色いろと悩む時もあると思いますが、先輩や友人、家族に相談しながら立派な社会人になるよう努力してください。その悩みのひとつひとつが人生の大きな糧になると思います。

私たちはひとりひとりが社会の中でかけがえない存在であることを自覚し、自分自身と周囲の人を大切にしていきたいと思っています。新成人の皆様もこころと身体の健康に気をつけて、自分らしく生きていける素敵な大人になってください。



インタビューに答えて頂いた方(敬称略)

男性 磯原・島田・高村・東・前田・牧・宮岸・山森・宮岸  
女性 江川・桶田・柿島・越野・村上・山田





ゆうゆう

地域の方を講師に

ぜみなしる



酒飲みの品格



梁井さんは、昨年11月に文芸社より「酒飲みの品格」を出版されました。ご興味のある方は是非一度ご覧ください。  
(編集部より)

## 酒飲みの品格

語り部・文 梁井宏 (若松町在住)



人類はそれぞれの国や民族において、身近に手に入る原料を用いてさまざまな酒を造り、固有の文化を育ててきました。

古代より、神の祭りにおいて全員がぐでんぐでんに酔いつぶれることで、神と人、人と人が一体となり、その絆を強めてきた日本人は、酔っ払いに対してはきわめて寛大で、その醜態は「酒の上で」ということで全て許されてきました。

一方、自分が飲みたいだけの量を、自分の責任で飲んできた西欧では、酒を飲んで醜態を演じることは大きな恥であり、決して許されない行為とされてきました。

酒は、酒そのものが美味しいばかりでなく、食事を美味しく楽しくする、コミュニケーションをよくする、ストレスを解消するなど社会生活に欠かせないものです。

それだけに、世界中の人々との交流が盛んになった現在、酒を飲んでの失敗は「酔っぱらっていた」では済まされなくなりました。

日本でも「酒飲みの品格」が厳しく問われる時代になったのです。

ふれあい

文化祭



好天のもと第31回ふれあい文化祭  
今年は「つどう・まなぶ・むすぶ」をテーマと定め  
2009年田上公民館「秋の祭典」が10月25日開催されました。

テーマに沿って文化教養部を中心に各委員協力のもと、「虫プロアニメ」『パッテンライー南の島の水ものがたり』の上映会・チアダンス・伝承あそびなどの催しものにも参加していただきました。

また、1・2階フロアーには校下の皆様が創作された力作を展示し、ペット写真展・グッドマナー川柳コンテスト・写真会々員によるフォトコンテスト・創作紙工芸教室などを行い、また楽しい餅つきにも多くの皆様の参加により大成功だったと思います。また、参加された方々よりいろいろなご意見をいただきました。それらを今後の文化祭等に役立てて、より多く参加していただけるよう楽しい行事など行っていきたいと思えます。(文化教養部)





二席

おはようさん 一声で町 いい仲間 (旭町・坂さん)

一席

捨てるなど 教えた親が ポイと捨て  
朝散歩 気づけば拾うゴミ (若松・子目・梁井さん)  
老夫婦 (旭町・福田さん)

おめでとうございます。

平成21年度 田上公民館

金沢市公民館永年勤続役員表彰

|          |        |
|----------|--------|
| 永年勤続 30年 | 泉 雅夫   |
| 永年勤続 15年 | 田島 ひろ子 |
| 永年勤続 15年 | 橋本 弘子  |
| 永年勤続 10年 | 石田 明美  |
| 永年勤続 10年 | 板谷 陸卓  |
| 永年勤続 10年 | 津田 正子  |
| 永年勤続 10年 | 野口 明樹  |
| 永年勤続 10年 | 松本 直朋  |
| 永年勤続 10年 | 水本 水   |



今回は初めての試みとして6ページで構成しました。これからも校下の皆様のいろんな活動を中心に取上げてまいりたいと思います。

Vol.88 発行日/平成22年3月25日  
発行人/広報視聴覚部

|       |          |
|-------|----------|
| 部長    | 三浦 清宏    |
| 副部長   | 臼井 秀紀    |
| 委員    | 村田 修二    |
|       | 高木 一子    |
|       | 三谷 昭子    |
|       | 北村 悟     |
| 特別編集員 | 彦坂 哲郎    |
|       | (アイウエオ順) |

ご意見・ご感想・ご希望を  
お聞かせください。

下記FAXまでお寄せください。

Kanazawa Tagami Community Center  
〒920-1151 金沢市田上町14街区4



TEL  
076-261-1331  
FAX  
076-261-1516

http://tagamihome.blog61.fc2.com/

# 英会話教室に参加して

上若松町 松田 好子



老後の楽しみに何か学びたいと思っていた時、「シニアのための 英会話…」の申し込みを見つけ受講しました。いざ参加してみると予想以上にヒアリングはチンプンカンプン。文法は忘れており、単語は電子辞書で調べまくり…助けて状態でした。



しかし、毎回いろいろな国から来ている留学生の方々が、ゆっくり熱心に発音して下さり、また館長さんがユーモラスたっぷりに進行してくださるので、いつのまにか「Good evening」で始まるこの時間が楽しくなってきました。気がつくと耳が慣れてきたのか、遠い記憶がよみがえったのか少しずつ聞き取れるようになってきたのも不思議です。そして「Nice to meet you. My name is～」で紹介し合ったお隣さんたちと趣味などを英語で話せるようにもなりました。これを機会にもう少し英語を学びたいと思っています。



Thank you very much to give me this chance.

地域コミュニティと普段着の国際交流推進事業  
多文化共生...



私たちがの地域には金大角間キャンパスがあり、9千名余の学生と3千名ちかいスタッフがあります。また、外国からの留学生も345名余が地域で生活しています。さらに、北陸大学の学生と留学生(700名余)の多くも地域で生活しています。また、金沢大学では、近い将来、留学生を千名にする構想も発表されています。なぜ国際交流を、どんな目的で展開するのかなど、再確認しながら地域特性を活かした普段着の国際交流を展開していきたいものです。(関戸)

## 「地域コミュニティと普段着の国際交流」

発表者 田上公民館館長

関戸 正彦

ドを使い報告いたしました。発表内容は、発展を続けている地域の紹介と公民館の活動概要を最初に報告し、金沢大学の移転と現状、県内の外国人留学生と金沢大学について、田上の会と普段着の国際交流や地域との交流についてを、中心に活動紹介を行い、最後に、いくつかの課題等について報告いたしました。

課題のつは、国際交流活動の定着と広がりであります。私たちの公民館は、田上の会の活動を中心に、41カ国にわたる「友遊サロン・聞いて私の国の話」継続開催や社体・文化祭への参加、初めて取り組みました「留学生と英会話教室」の実施、各種講演会やセミナーへの積極的な参加など、普段着の国際交流を合言葉に活動を展開していますが、地域全体への広がりや田上の会会員拡大など反省点も山積しています。また、外国人金沢市民にたいします生活支援等のサポートづくりも必要となっています。さらに、4月から「金沢学生の町推進条例」が施行予定されており、留学生を含めた学生と地域のつながりや地域参加など、新たな課題にも対応していかなければなりません。

2月20・21日の2日間、第47回金沢市公民館大会が開催され、毎年2館づつ発表されています「公民館活動発表」に、当館が10数年ぶりに役割があたり『田上公民館・普段着の国際交流』について、スライ

